

第12回 全国キャラバン研修会

ジェネラルナースの 技術力を高めよう！

日時：2023年11月11日(土)

13:00～16:00

会場：神戸市看護大学

本来の看護！見直してみませんか？
「気持ちよい」ケア



「気持ちよい」ケアを 体験・実施してみましよう！

内容

- ①「気持ちよい」ケアとして熱布バックケアを2名一組となり体験・実施
- ② ”かたち“にするツールとして、「気持ちよい」ケア実施記録を紹介
- ③体験したことについて意見交換

講師：気持ちよいケア班

河合桃代(帝京平成大学)

東郷美香子(健和会臨床看護学研究所)

澁谷幸(神戸市看護大学)

中山久美子(健和会臨床看護学研究所)

内山孝子(神戸市看護大学)

中澤美弥(西武文理大学)

茂野香おる(淑徳大学)

研修会支援：新澤由佳(神戸市看護大学)



第12回全国キャラバン研修会

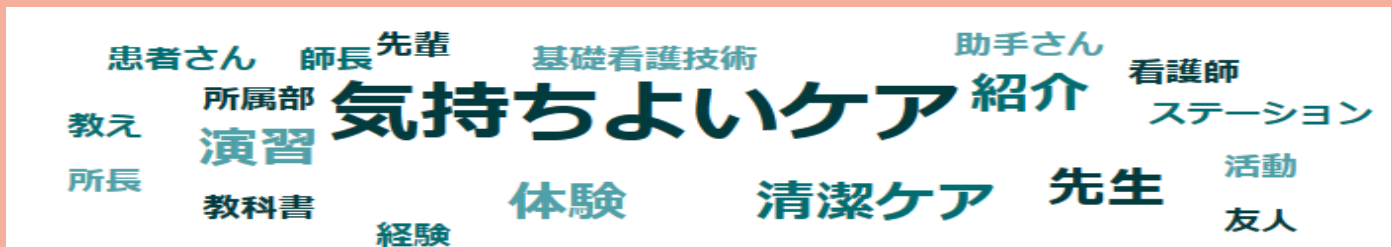
気持ちよいケア班は、「気持ちよい」ケアを体験・実施してみましよう！」というテーマで、2023年11月11日20名の参加で対面式にて開催しました。非会員で病院勤務や訪問看護ステーションの方々が多く参加してくださいました。非会員の方々にもわかるように、全国キャラバン研修会の意図や学会での班活動について詳しく紹介しました。

演習では、「気持ちよい」ケアの一つである、後頸部から臀裂まで温かいタオルの上に熱布を貼付する熱布バックケアを2人1組で実践し気持ちよさを体感しました。意見交換では、「気持ちよい」ケアを体感し、これまで実施してきた「気持ちよい」ケアを考える機会になった、多忙を極める中で、どのように「気持ちよいケア」を取り入れていくかが課題であるなど活発な語り合いがありました。

参加者の皆様との交流から、班メンバーもエネルギーをいただき、改めて「気持ちよい」ケアを通して看護の本質に立ち返る重要性を再確認できました。今後も、看護実践現場で熱布バックケアをはじめとする「気持ちよい」ケアがさらに広がる活動をしていきたいと思います。

参加者： 会員：2名 非会員：18名、合計20名

参加動機： 気持ちよいケアに関心があったことが見えてきました



感想：

- ◆ もっともっと看護ケアが免疫力を高め、自然治癒力を上げる為に有用である事をたくさんの人に広めたい。
- ◆ 看護の力を発揮できる方法を知る事は看護師になった楽しさや素晴らしい職業である事に気づけるのではないかと思います。
- ◆ 熱布バックケアを実施されている時の背中温かさは心地よいだけでなく、タオルの重みが必要な人にハグされているような、小さい子供やペットが背中に乗っているような安心感がありました。
- ◆ 気持ちよいケアを志している方々の熱意を強く感じられ、よい刺激になりました。帰るときにも身体がポカポカしていました。ステーション内でもぜひ共有したいです。

ご参加ありがとうございました！ 気持ちよいケア班一同